

国語－17（第5学年） 編集の仕方や記事の書き方に注意して新聞を読む事例

【学習活動の概要】

1	単元名 新聞の読み方を考えよう	
2	単元の目標	
	目的に応じて、見出しなどに着目したり、記事の種類や紙面の構成の仕方に注意して読んだりして、効果的な読み方の工夫を考えることができる。	
3	評価規準	
	【国語への関心・意欲・態度】	
	・新聞の編集の仕方や記事の書き方に興味をもつとともに、目的に応じた効果的な読み方を工夫しようとしている。	
	【読む能力】	
	・様々な読む目的に応じて、見出しやリード、本文などの記事の構成や記事の種類、紙面の構成などに注意して読んだり、記事を比べて読んだりするなど、効果的な読み方の工夫について考えている。	
	【言語についての知識・理解・技能】	
	・文や文章にはいろいろな構成があり、書く目的に応じた構成がなされていることを理解している。	
4	教材 児童が理解しやすい内容の新聞記事	
5	主な学習活動（単元の指導計画（全6時間））	
	学 習 活 動	言語活動に関する指導上の留意点
第一 次	◆学習の見通しをもつ。 ○興味をもった記事が掲載されている新聞を持ち寄って、グループで読み合う。	○新聞というメディアに関心をもてるよう、導入の一週間前から興味をもった記事を集めるようにしておく。その際、学習にふさわしい記事を持ち寄れるよう保護者にも協力を依頼する。
①	○「新聞記事の書き方の特徴をとらえて、目的に応じた読み方を工夫しよう」という学習課題を設定する。	
第二 次	◆新聞記事の特徴をとらえる。 ○持ち寄った新聞を比べて、紙面や記事の構成、記事の種類の違いなどを見付け、その理由や効果を考える。	○目的に応じた読み方を工夫するために、新聞の特徴をとらえられるようにする。
②	・見出しやリード、本文などがある。 ・出来事を伝える報道記事のほかに、社説やコラム、投書などいろいろな種類の文章がある。 ・文章に加えて写真や表などが多く用いられている。 など	○なぜそうした特徴があるのかについて、作り手の意図、読み手のニーズの2つの視点から考えることができるようにする。
第三 次	◆読む目的に応じた読み方の工夫を考える。 ○新聞を読むのはどんなときかについて話し合う。	○日常生活の様々な場面で新聞を読む場合を想定して考えられるようにする。
③	・朝の忙しいときに短時間で情報が知りたい。 ・興味のある記事を詳しく読みたい。 など	
	○グループごとに様々な状況や目的を想定して、効果的な読み方の工夫を考える。	○新聞記事の特徴と読む場面や状況とを関連付けて、読む目的に応じた工夫を考えられるようにする。
	・短時間で情報を得るためには、まず見出しに着目し、読む必要があるか判断する。	○同一の話題を取り上げた複数の記事を比較して、書き手が伝えようとするものの中心を考えられるようにする。
	・知りたい情報を見付けやすくするためには、全体の紙面構成を知っておくとよい。	
	・複数紙の記事を比べて読むとより多面的な情報が得られる。 など	○学習したことを日常生活に生かそうとするよう促す。
	○考えた読み方の工夫を発表し合い、今後取り入れてみたい読み方を考える。	

【解説】

【指導事例と学習指導要領との関連】

小学校学習指導要領・国語の第5学年及び第6学年「C読むこと」の指導事項「イ 目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること。」を取り上げて指導するものである。

「C読むこと」の言語活動例「ウ 編集の仕方や記事の書き方に注意して新聞を読むこと。」を通して指導することにより、指導の効果を高めている事例である。

【言語活動の充実の工夫】

①多様な「効果的な読み方」を押さえることができるようにするための工夫

高学年になると、読む目的や情報収集の範囲が広がっていく。それに応じて本や文章の読み方を広げていく必要がある。「効果的な読み方」としては、例えば、比べ読み、速読、本や文章全体を概観しながら必要なところを選んで読む摘読、重ね読みや並行読書など多様なものが挙げられる。

新聞は、様々な種類の記事が編集されて紙面を構成している。本事例では、こうした新聞の特徴を押さえて読むことで「効果的な読み方」を、目的に応じて工夫して読む能力を一層高めることができるようにしている。

②新聞記事の特徴を押さえた指導の工夫

新聞を読む言語活動を通して「効果的な読み方」を工夫できるようにするため、本事例ではまず、新聞の特徴を明らかにして学習を進めていくことができるようにしている。例えば、次のようなものが新聞のもつ特徴として挙げられる。

○新聞記事の内容

社会・経済・政治・産業・国際・教育・文化・スポーツ・子ども向けの情報コーナーなど多岐にわたる。

○新聞記事の種類

5W1Hなどの要素を押さえて書かれた事件や出来事の報道記事だけでなく、社説・コラム・解説などがある。また、連載されている記事もある。

○新聞記事の構成上の特徴

結論を見出し出先に示し、リードから本文へと次第に詳しく記述していくものや、文章だけではなく、図や写真、グラフ、キャプションなどを組み合わせているものもある。

○紙面構成

複数の記事を効果的に配置する割り付けがなされている。

新聞によって、各号とも紙面のどこにどのような記事を置くかが決まっていることが多い。

③目的に応じた効果的な読み方について考えることができるようにするための工夫

本事例では、目的に応じて効果的な読み方を工夫して行えるようにするための基盤として、様々な状況や目的を想定して、効果的な読み方の工夫を考えるようにしている。第二次で押さえた新聞の特徴を基に、多様な目的に応じた様々な読み方の工夫があることに気付くことができるよう指導を工夫したものである。

また、単元末には、今後自分が新聞をはじめとして、様々な本や文章を読む際に、目的に応じた読み方を工夫できるよう、自分が取り入れてみたい読み方について考える場面を位置付けている。

思考力・判断力・表現力等の学習活動の分類： ④, ③